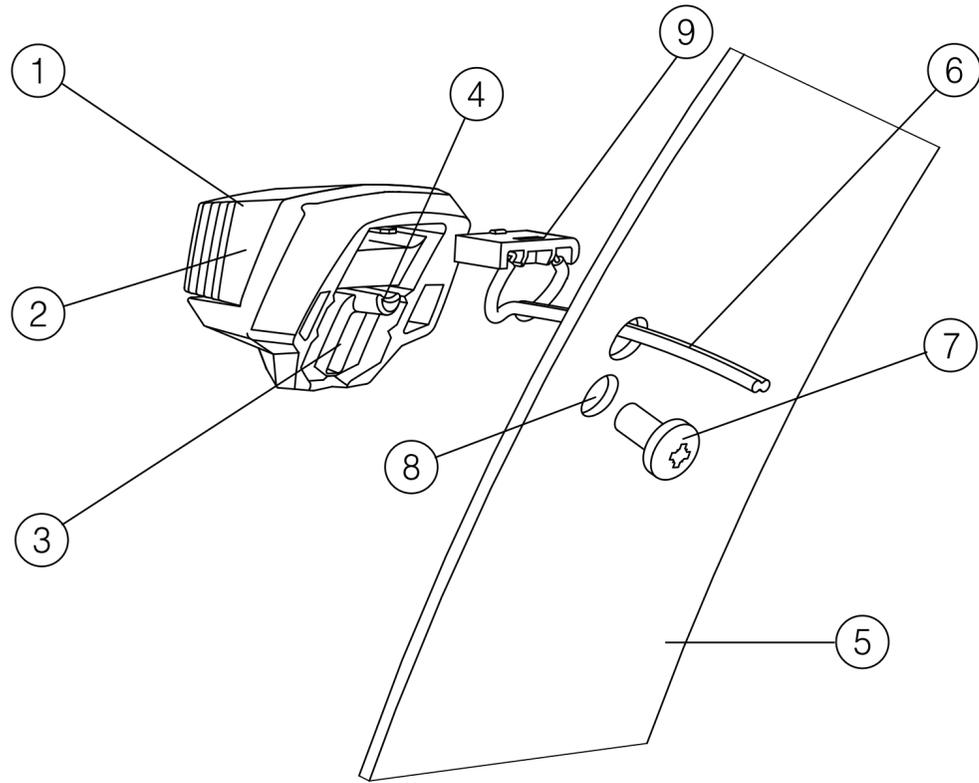


## はじめに

1. リアライトユニット
2. LEDライト
3. ネジスロット
4. サポートピン
5. 泥よけ
6. デュアルケーブル
7. ネジ
8. ネジ、サポートピン、ケーブル用の穴
9. 電源入カスライド



### 全般:

この製品は、トレッキング、通勤、路上走行用に自転車に組み付けて使用することを目的としています。また、オフロードでの使用を目的としていません。ライトは6V~12V DCで動作します。製品は、ドイツのStVZOおよびフランスのTP RBi要件に準拠しています。承認番号は、リアライトユニットの側面と前面に記載されています。ライト自体にはオン/オフスイッチがありません。ケーブルが接続されていて、ケーブルに電力が流れている場合は常にオンになるように設計されています。したがって、オン/オフ機能はEBIKEオペレーティングシステムによって制御されます。

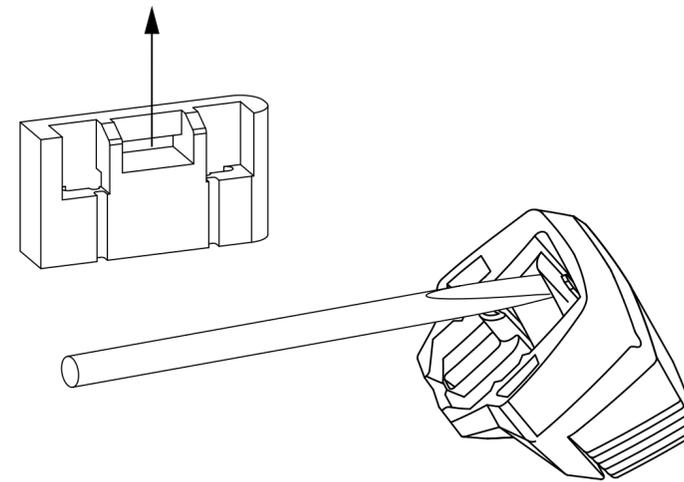
### お手入れと廃棄:

ライトは通常、その意図された使用環境でメンテナンス不要となるように設計されています。LEDはランプ寿命の間持続します。清掃が必要な場合は、湿らせた布と中性洗剤を使用してください。ライトユニットを水没させないでください。破損する恐れがあります。製品を家庭ごみに捨てないでください。WEEE規定に従って、認定された収集場所に製品を廃棄してください。

詳細については、直接販売店、あるいは、[sales.bike@herrmans.eu](mailto:sales.bike@herrmans.eu) にお問い合わせください。

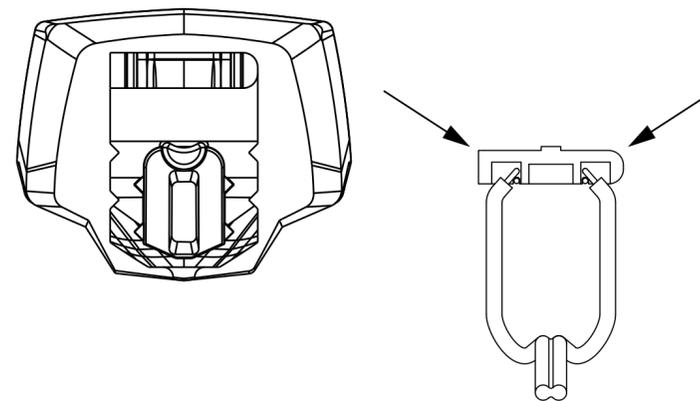
Herrmans Bike Components Ltd.  
PB36  
68601 Jakobstad, Finland

## 電源入カスライド



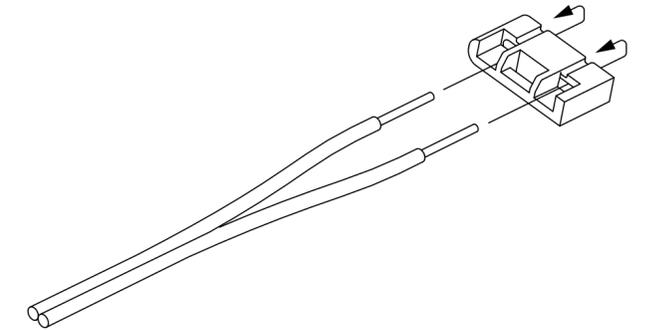
ドライバーを使って、このスロットから引いて、電源入カスライドを取り外します。

## 電源入カスライドの向き



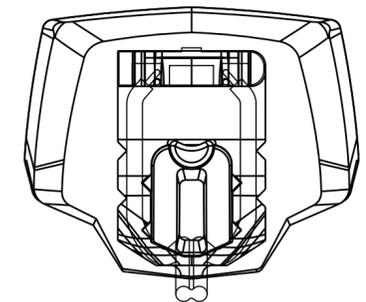
四角で丸みを帯びた側面に注意してください。それに応じてピースを向けてください。

## 電源入カスライドアセンブリ



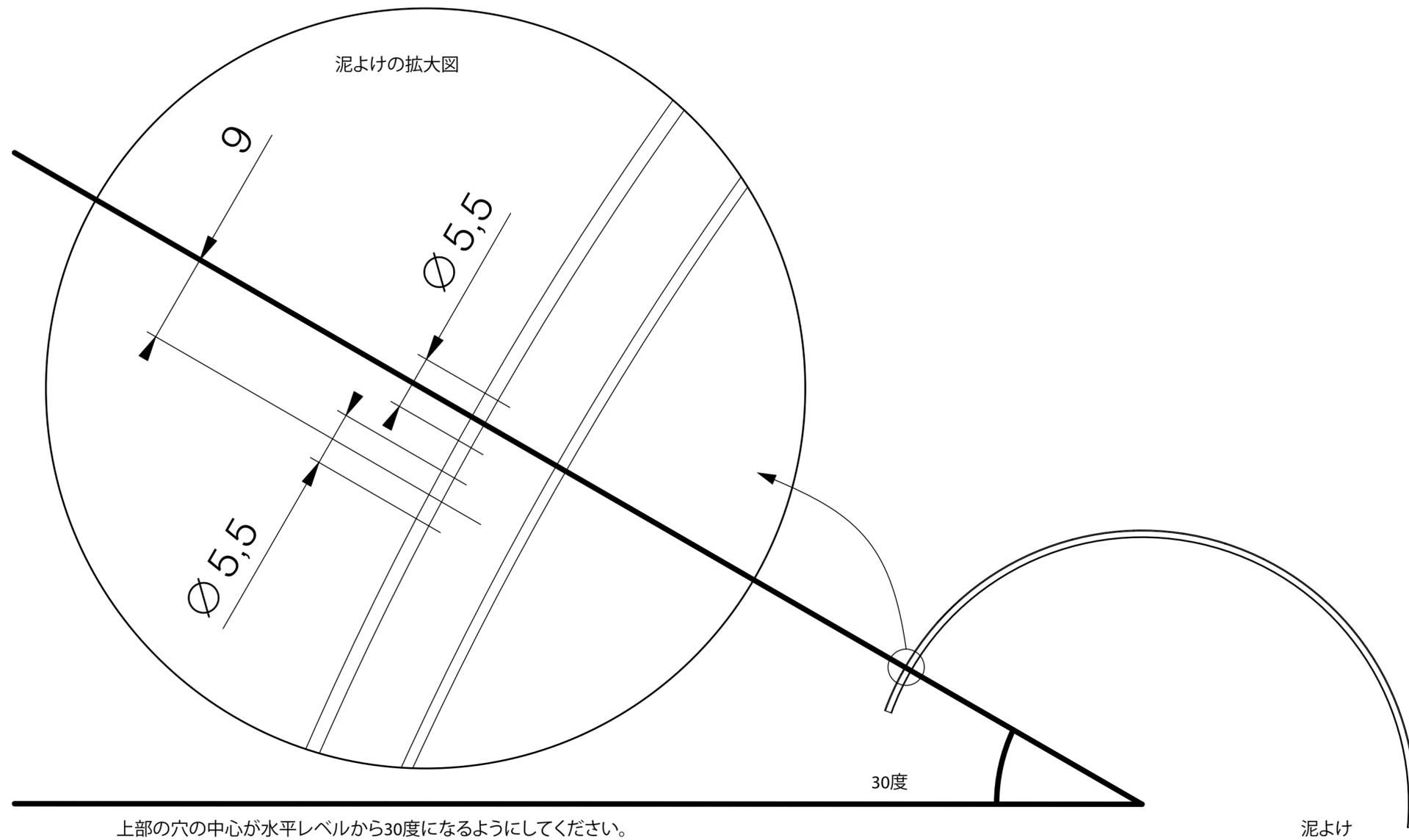
1. ケーブルの端を8~10mm剥きます。
2. 電源入カスライドの穴にケーブルの開口端を差し込みます。  
注意: ケーブルの極性を気にする必要はありません。回路の設計により、どちらの方向にも接続できます。
3. 溝に合わせて端を折ります。
4. ワイヤの端が互いに接触していないことを確認してください。接触すると短絡につながり、ライトが機能しなくなります。
5. 組み立てた電源入カスライドをライトに挿入します。

## ケーブル配線

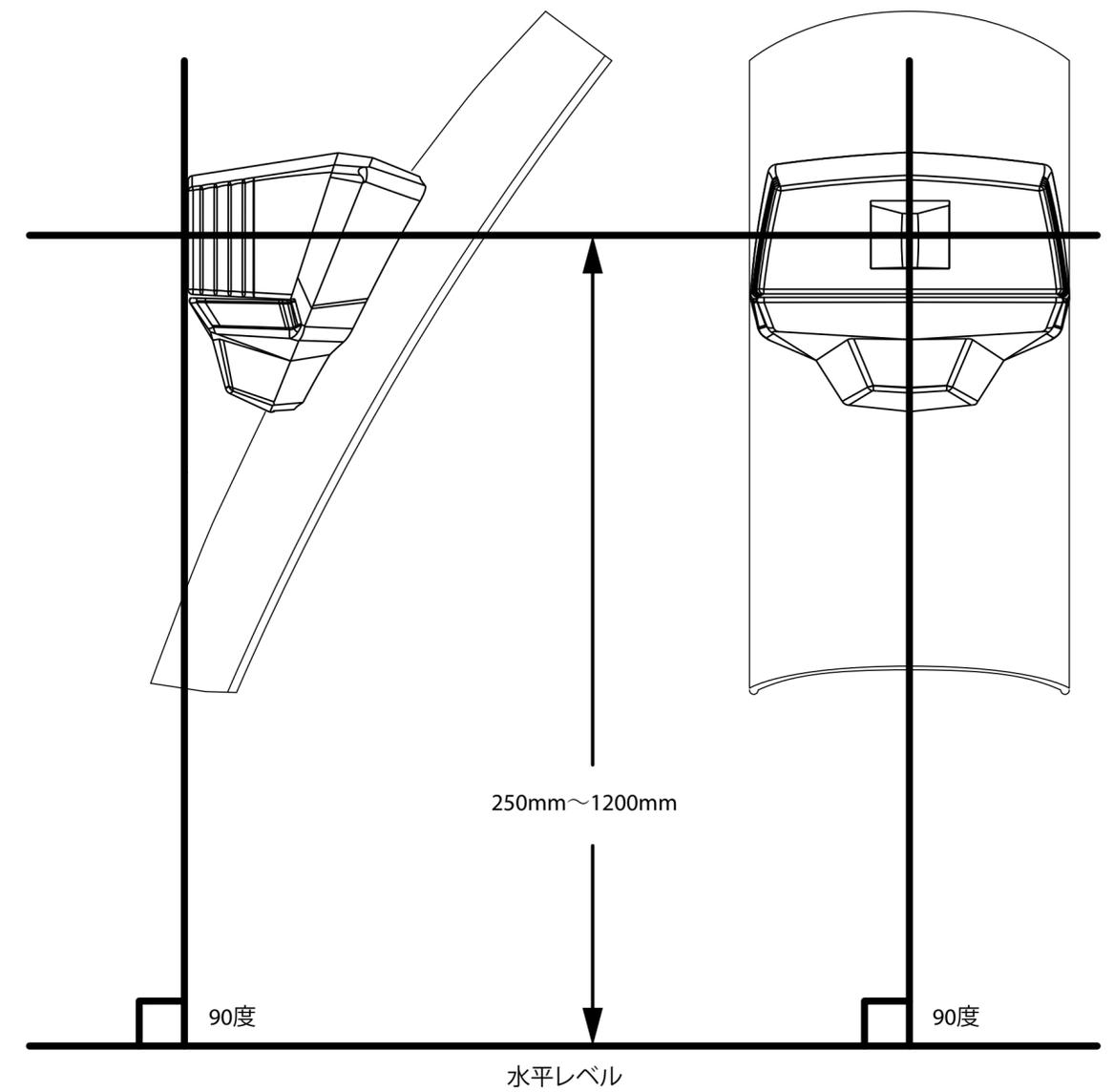


代替ケーブル出口: 1. サポートピン穴 2. 下部のスロット

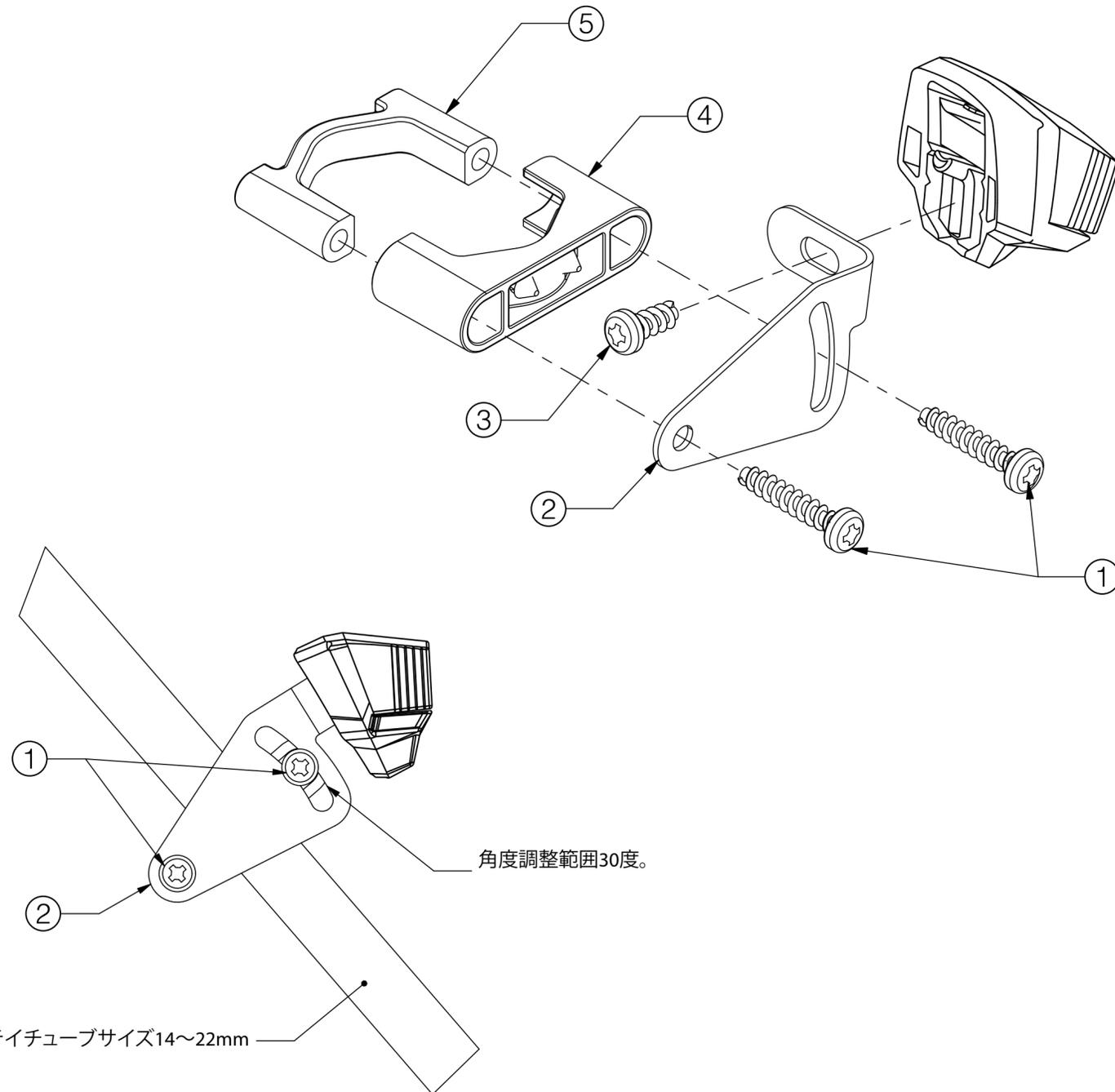
泥よけの穴あけ手順



ライトユニットの向き



## シートステーブラケットアセンブリ



1. ブラケットの金属アーム(2)を固定している2つの20mm PTネジ(1)を外して、シートステーブラケットユニットを分解します
2. 金属アーム(2)を9.5mmネジ(3)でライトユニットに取り付けます。  
- 金属アーム(2)がライトフレームに完全に押し付けられるまで、ネジを締めます
3. シートステーブラケットの半分を自転車のフレームに組み立てます。  
- ベースパーツ(4)を金属アーム(2)に対して配置し、次にクランプパーツ(5)をシートステイチューブの後ろに置き、20mm PTネジ(1)を組み立てます

ヒント! PTネジ(1)を再組み立てするときは、最初に反時計回りに回転させます。小さな切り欠きを感じたら、時計回りに回転させます。このようにして、ネジをプラスチック上の既存のネジに再度ねじ込みます。

- ライトが真後ろを向くように調整します。「ユーザーマニュアル H-TRACE MINI EBIKE」の2ページ目の詳細な手順を参照してください。
- ネジ(1)を締めます

### 4. 電氣的接続

- 「ユーザーマニュアル H-TRACE MINI EBIKE」の最初のページを参照してください。
- 電源ケーブルは、金属アームとハウジング本体の間に配線できます。これは、ライトユニットを金属アームに取り付ける前に行う必要があります(ステップ2)。

### 注!

- ネジを締めすぎないでください。
- ブラケットは、14mmから22mmまでのシートステイチューブの直に適合しています。